

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念以外に施設理念が無く、施設運営スタイルが全職員に反映出来ていない	職員と協働にて施設の理念を作成し、統一した運営を目指す	会議等で全職員が考える良い所、悪い所、目指すべきところを集約し、施設理念を作成します	3ヶ月
2	10	運営推進会議等の内容や議事録について、不参加の家族様全員へお渡すことが出来ておらず、運営の状況が伝えられていない	家族様へ運営を継続的に理解して頂き、日々の意向等も踏まえて運営する共同運営モデルを増やす	外部評価が終了した当月より家族様へ郵送にてお渡しし、運営状況を理解して頂く	1ヶ月
3	6	外出の機会を毎日確保している状況下で、館内のEVIに暗証ロックをかけており、自由に館内を移動することができない	現況の内容が身体拘束に該当するかどうかは外れているが、確認をおこない、出来るだけ行動範囲を増やせるようにする	運営推進会議で家族様へ、会議等で職員へ現状のロックの件を議案として出し、安全性も含めて状況の確認をおこなう	1ヶ月
4	23	アンケート調査やモニタリングが画一的なものとなり、継続的に利用者様の想いや意向確認が出来ていない	日々の入居者様の意向や想いを聞き、日常生活が楽しく送れるようにする	ケアマネージャとの面談、業務内容の確認、又、趣味・嗜好アンケートを入居時だけでなく、6か月に一回のクールで実施する	6ヶ月
5	26	ケアプランが介護サービス中心になっており、生活面での支援が不十分	さらなる質の高い介護サービスの提供、会話を増やし、日々の生活の楽しみ・充実を図る	ケアマネージャとの面談、家族様との連携を密にすることで、生活面での充実を図る	6ヶ月
6	35	備蓄品が確保出来ておらず、非常災害に向けての対応が出来ていない	備蓄品を確保する事で、非常災害に備える	法人との協議をおこない、1日分なのか3日分なのか、予算を含め検討する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。